

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	放課後等デイサービス スタディラボMy room			
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～	令和年 4月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～	令和年 4月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者からの満足度が高く、安心して通える支援体制が整っています。	毎月のモニタリングや面談を通して、保護者とのこまめな情報共有に努めています。	保護者アンケートや個別面談の内容をもとに、ニーズを反映した支援計画の見直しを行っていきます。
2	支援内容や利用方法について丁寧な説明と情報提供が行われています。	支援内容を分かりやすく説明するため、活動の様子を写真やコメント付きで共有しています。	職員間での情報共有の質を高めるため、定例ミーティングで子ども一人ひとりの様子や対応方針を継続的に共有していきます。
3	緊急時の対応や安全面への配慮が十分になされており、信頼されています。	定期的な避難訓練やマニュアルの見直しを行い、緊急時にも落ち着いて対応できる体制を整えています。	安心・安全な環境づくりのため、施設内環境や備品の見直し、安全管理体制のさらなる強化に努めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容や取り組みについて、保護者に十分に伝わっていないと感じられる場面があります。	支援の内容や取り組みについては実施していても、その意図や効果が保護者に十分に伝わっていないことがあります。	支援内容や活動の意図をよりわかりやすく伝えるために、写真や具体的なエピソードを交えた発信を行います。
2	家庭支援やペアレントトレーニングの機会が少なく、参加のハードルが高くなっている可能性があります。	家庭支援やペアレントトレーニングなどの取組は、時間や参加方法に配慮が足りず、保護者にとって参加しづらい状況があります。	家庭支援においては、保護者が参加しやすい時間帯や方法を工夫し、必要な情報やスキルを得られる機会を増やします。
3	地域との交流や他機関との連携の取り組みが見えにくく、外部とのつながりが保護者に伝わりづらい状況があります。	地域や関係機関との連携について、事業所内では取り組んでいるものの、その情報発信や可視化が不十分である可能性があります。	地域や関係機関との連携状況を定期的に保護者へ報告し、外部とのつながりを実感できるよう努めます。